

第5回四季祭

帝京平成大学中野キャンパス



オレンジバルーンフェスタ

薬学科や看護学科、児童学科などを有する中野キャンパスでは、6500人が来場する四季祭を開催。各学科、コースの特徴を生かした企画が充実しており、薬学科では中野区や中野区医師会、東京オレンジバルーンフェスタ協議会と連携し、薬物乱用防止キャンペーンや痛について考えるオレンジバルーンフェスタを企画している。

薬学科以外にも、児童学科・幼稚園コースでは、子ども向けの遊びゾ



昨年の様子

ーンやファミリーコンサートを行う予定。

第12回浜葉祭 横浜薬科大学



昨年の様子

3500人が訪れる浜葉祭の魅力は、図書館棟21階の展望台を一般開放することだ。同大キャンパスは、遊園地の「横浜ドリームランド」の跡地に建設されており、ドリームランドに併設していた「ホテルエンパイア」の建物が、現在は図書館棟として再活用されている。展望台では、天気の良い日は富士山や江ノ島を見ることができる。



また、近隣農家との連携による野菜の提供や、ハーブティーの試飲など健康志向の取り組みが目立つ。同大連携校の高校生によるイベントも開催される。

女性キャリアデザイン

考えよう！キャリアデザイン



キャリア・ポジション社長 西鶴 智香

今回のテーマは「女性のキャリア」です。女性のキャリアと聞くと、女子学生だけが対象の話と思うかもしれませんが、実は男性にも理解していただきたいテーマなのです。

男子学生の皆さん。多くの人は、将来結婚し子供を持ちたいと思っているでしょうけれど、子どもは何人くらいほしいかで、子育てはどのようにしていきたいですか？もしパートナーが管理職として働いていて離職できない場合、子育ては誰かに任せなければなりません。そのことをどう考えますか？女性の仕事と結婚、出産、子育ては、女性だけの問題ではないことがわかりますよね。パートナーと一緒に考える問題なのです。

さて、昨年4月に「女性活躍推進法」という法律が施行されました。

日本では今、働きたい気持ちはあるものの育児や介護等を理由に働いていない女性は300万人いるそうです。6割の女性は第1子出産を機に離職しています。離職後の再就職にあたっては非正規雇用になる場合が多く、働く女性の6割弱は非正規雇用者です。女性管理職の割合は、日本はわずか11%。欧米諸国の約50%と比べると極めて低い傾向にあります。

日本は今、少子高齢化のせいで労働者人口が年々減少しています。労働者を確保するために、女性の仕事復帰を積極的に支援する動きが強まってきたのです。法律を受けて、出産や育児で女性が仕事を離れなくても活躍し続けられる制度や、昇進のための研修体制などを企業に求める

制度が始まりました。

私は、働く女性薬剤師のキャリアカウンセリングを担当していますが、結婚や出産に関係する仕事の相談を数多く受けています。結婚した仕事と家事を上手く両立することに悩んでいるとか、出産後薬剤師としてスムーズに復帰できるのか不安があるなど、相談内容は様々です。男性に比べて、結婚や出産、育児というライフイベントが女性のキャリアに及ぼす影響が大きいのは確かです。しかし、結婚や育児は女性だけの問題ではありません。女子学生だけでなく男子学生にとっても、人生に起こる様々なライフイベントと仕事の関わりは、キャリアデザインを設計する際に考慮すべき要素の一つなのです。



薬のことなら 薬事日報ウェブサイト

『薬事日報』に掲載される記事を中心に、医薬業界のニュースサイトとして成長を続けています。

一般からのアクセスは少なく、閲覧者の多くが医薬業界に属しております。業界の情報収集にご活用ください。

https://www.yakuji.co.jp

薬事日報 検索

「薬学生新聞」も ウェブサイトに公開中!!